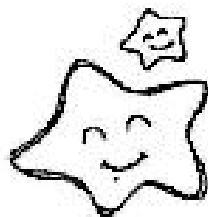


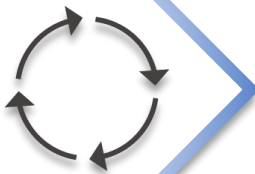
QSK にぬふあぶし

No.328

ね
子の方向の星(北極星)



地域を
まわる



【 駄菓子家ぱーらー 】

営業時間：日・祝（12時～18時）

場所：八重瀬町字具志頭165

Mail: riverroot2020@gmail.com

ずいぶん古い話だが、「根川さん、飲み会で倒れたんだって!」という噂が、関係事業所間に流れてきたことがあった。結局、真相はよく知らないのだけれども、それからしばらくしたら根川さんが独立して仕事を始めたという話が聞こえてきて、「あ、忙しくて体を壊したから、自分のペースでのんびり働きたいということかな」というふうなことを、なんとなく勝手に想像したりもしていた。前職では、根川さんが相談員としてだいぶハードな働き方をしていたような印象が僕的にはあったからである。

ところが独立して自分の事務所を構えてからも、というか、むしろそれからのほうが、まさか体が五つ六つあるんじゃないかというくらい、根川さんはバリバリ、ノビノビと、多方面で活躍するようになっていった。(独立した直後にもらった名刺をいま見返してみたのだが、肩書きには社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士に相談支援専門員をコンプリートしており、さらに最近はまた防災士試験にも合格、手話の勉強も始めているらしく、順調に体の数を増やし続けているようだ)

それで、八重瀬町にある【駄菓子家ぱーらー】は、そんな根川さんの店である。

“パーラー”みたいな事業所を作りたいくて、また地域で駄菓子屋をやりたいという構想自体、前職に勤めていた頃から温めていたという。福祉事業所の中かで相談員をやっている、ぜんぜん地域とつながっていけないような感覚があったのだ。(次のページへ)



もっと気軽にふらっと来て、みんながお茶でも飲みながらユンタク(おしゃべり)できる空間、「つながる」きっかけとしての、そういう居場所が欲しい。作りたい。

根川さんはスクールソーシャルワーカーでもあって子どもたちとの関わりも多いから、なによりもまずは子どもたちが来られる場所でなければならない。



そんなイメージをかたちにしたものが昔ながらの駄菓子屋さんだ。しかも街角のパーラーみたいな気安さで、いつもふんわり地域とつながっていたいと思っている。いい距離感で、いまそれができつつある。

営業日には平均して15名くらい、子どもだったり親だったり遊びに来るようになった。もとは相談員としての関わりでつながっていた一人のお子さんが、あるとき友だちを連れて店に遊びに来てくれたこともある。自分たちで計画を立てて旅のしおりも作っていた。近所の友だちとこんなふうに遊べるならもう児童デイなんか頼らなくても大丈夫なんじゃないかということで、めでたくサービスも卒業となった。

もちろんこういうドラマチックなエピソードはそうそうあるものではなくて、日々はおおむね「よんなーよんなー(ゆっくりゆっくり)」過ぎていく。

書類仕事をしていたら子どもたちが道から手を振ってくれた。たんに福祉事業所だけやっていたらこんなことはなかっただろうと実感する。地域が覗く。

体が七つも八つもあるような根川さんだが、いつも呪文のように「よんなーよんなー」を唱えている(確かに自分に言い聞かせているようでもある)。

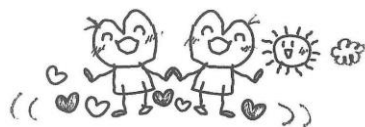
駄菓子屋は“未来への投資”ということも意識している。タネをまいて、まいにち水をあげるようなことだ。あした芽が出るかはわからないが、無心に続けていく。

これからの展望を聞いてみたら、「増やしたい」のだという。まだまだ分裂増殖だ。「駄菓子家ぱーらー」的な取り組みをもっと各地で増やしたい。フォロワー来たれ。沖縄中にタネをまいて、みんなでよんなーよんなー水をあげよう。

バラバラに解体されて久しい地域ネットワークを再びよみがえらせるためには、「駄菓子家ぱーらー」のように意識的・意図的に生成されたつながりのコミュニティを果敢に広げ、増やし、応援していくことが間違いなく求められている(障がい者家族会も、だから今後ますます大きな意味を持つはずだ)。

行政主導の福祉とは異なる方法にこそ、自由な光が見える。(増山)

賛助会員、読者のみなさま



公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 圭吾 (公印省略)

賛助会員(2024年度)継続・加入のお願い

拝啓

みなさま、いかがお過ごしでしょうか？ 日頃は広報『にぬふあぶし』をご愛読いただき、またさまざまなお意見ご感想なども大変ありがとうございます。

紙面・記事に関する今年度のひとつの目標として、私たち沖福連の内側ばかりでなく、その外側にある地域資源(人や活動)の紹介などももっと増やしていけたらと考えています。地域には既にたくさんのチャレンジがあります。そういうものをより広く知って、つながり、応援していくことができればと思っています。

さて、沖福連の活動は、みなさまからの賛助会費やご寄付によって支えられております。今後とも変わらぬご支援ご協力をお願いいたします。

いつもご負担をおかけして誠に恐縮ですが、2024年度賛助会費の手続きをどうぞよろしくをお願いいたします。(※郵便振替用紙をいつも同梱していましたが、低料金第三種郵便物の利用条件に抵触してしまう場合があるため、昨年より省いています。お手数をおかけしますが、必要な方はお気軽にご連絡ください)

末筆ではございますが、ご多忙の折なにとぞお身体ご自愛ください。

敬具

賛助会費(2024年度) 個人 1口: 2,000円

団体・法人 1口: 10,000円

ゆうちょ振込口座: 02020-0-37037

(加入者名: 公益社団法人沖縄県精神保健福祉会)

※オンラインによるクレジットカード決済でも賛助会費の払込みが可能です。
沖福連ホームページから「寄付・賛助会員のご案内」をご覧ください(右QR)。



【お問い合わせ・連絡先】

〒901-1104 南風原町字宮平 206-1 沖福連事務局(担当: 増山)

電話 098-889-4011 FAX: 098-888-5655 Email: terushino@castle.ocn.ne.jp

北中城村精神療養者家族会(設立準備会)に行ってきました

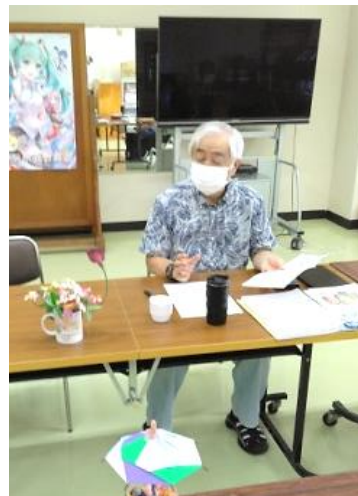
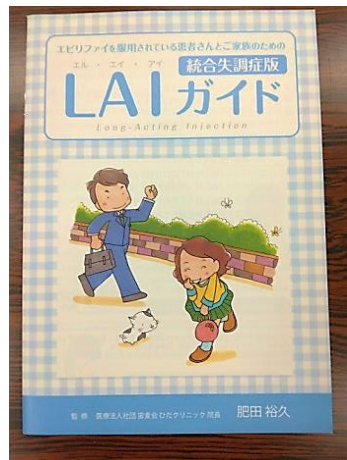
比嘉です。先月、およそ2年ぶりに北中城村の家族会準備会の集まりにお邪魔してきました。地道な継続も実を結んで、参加者も順調に増えてきているようです。

この日は、代表の谷川さんが病院からもってきたという「LAI(持続性注射薬)ガイド・統合失調症版」の紹介や、みなさんの最近の様子などを報告しあい、互いにねぎらったり、先輩方からアドバイスをもらったりしながら会は進んでいきました。

うれしいことに社協の職員さんからは「今年度から社協の仕事に家族会のことが正式に加わりました」となんと心強いお話がありました。

気の弱い私は恐る恐る見学をお願いをし、お邪魔させてもらいましたが、そんな心配は不要でみなさん温かく迎え入れてくれました。谷川さんはおしゃれで面倒見のいいジェントルマンです。

定例会は毎月、第一金曜日の14時から。北中城村社会福祉協議会に会場を借りて行なっています。興味ある方はお気軽にどうぞ。



沖福連のホームページでは、北中城村の集いも含めて、いくつかの家族会を動画で紹介しています。それぞれの会のイメージがより伝わるものになっていますので、ぜひ一度覗いてみてください! (右 QR コードより)



『ふれあいプラザ宮古』のDIY創作シリーズ 2024!



リユース&身近な素材で

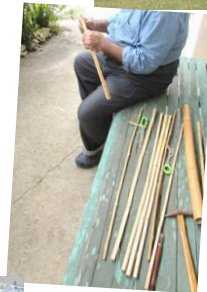


今年のお正月、プラザの玄関をめでたく飾っていた「廃材リユース門松」。不要になった漬物用ガラス瓶に倉庫で眠っていたゴザの表地を巻きつけ、裏庭に生えてくる笹を切り出してトラの尾やシダの葉を生けると・・・なんという事でしょう!! 1円もかからずに立派な(?)門松が完成! 個人個人のミニ門松も作りました♪ みなさんの仕事や趣味の知識が詰め込まれています。試行錯誤でしたが出来上がった時は感動でした☆



子ども時代の記憶をたどって『宮古凧』

こちらは凧作り。昨年男性職員が入職したことで男の子の懐かしの遊びを再現した創作が増えました。竹ひごは、門松でも活躍した裏庭の笹を手仕事で削り、男性利用者たちが子供時代の経験を思い出しながら仲良く組み立て。空に上がるか心配でしたが、風に乗ってグングン舞い上がり、凧糸が手のひらに食い込む感覚も懐かしく、まさに童心に帰って楽しめる活動になりました♪



4月には恒例のトライアスロン応援看板も済ませ、これからは秋の作品展に向けて合同作品作りに取り掛かる予定です。次回通信をお楽しみに♡

【ふれあいプラザ宮古】

ゆいレール 一部区間 終日運休のお知らせ

6/29 (土) 始発から 30 (日) 終電まで

予備日 2024/7/6 (土) 始発 ~ 7/7 (日) 終電まで

- 2024/6/29(土)~6/30(日)の2日間、新車両基地への分岐器設置工事のため、那覇空港駅~牧志駅間を終日運休します。
- 工事中、ゆいレールは牧志駅~てだこ浦西駅間を約12分間隔で、折り返し運行を実施します。また那覇空港駅~牧志駅間についても、約12分間隔で代行バスを運行します。

注1) 工事の進捗状況により、ゆいレール全線の運行再開が早まる場合がございます。

注2) 天候状況により、本工事を実施できない場合は、2024/7/6(土)~7/7(日)に延期します。

【お問い合わせ】 沖縄都市モノレール株式会社

総務課 TEL.098-859-2630(平日 9:00~17:00)

※6/29(土)・30(日)のみ 県庁前駅 TEL.098-865-5507

詳細はHPをご確認ください。

沖縄都市モノレール
<https://www.yui-rail.co.jp/>



◎編集後記◎

子どもの頃は、学校の友だちとともに駄菓子屋のヘビユーザーだった。生活圏内には覚えているだけでも3件の駄菓子屋があって、プラモデルも売っている店だったり50円でもんじゃ焼きが食べられる店だったり、それぞれに異なる色合いがあった。僕たちにとって駄菓子屋は放課後のポータルサイトのようなもので、学校から帰ってきてランドセルを置いたらまずとりあえずアクセスする場所だった。友だちと再合流してその日の過ごし方を合議するための空間だ。中でも我々のホーム駄菓子屋は「熊倉」という店で、とっくになくなっただろうと思っていたのだが、ネットのストリートビューを見てみると同じ場所に(当時とは姿を変えて規模も小さくなってはいたが)、「だがしやくまくら」の名前が今も燦然と輝くのを発見することができた。(増山)

編集：公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会

会長 山田 圭吾

〒901-1104

沖縄県島尻郡南風原町字宮平206-1

電話098-889-4011 FAX098-888-5655

E-mail terushino@castle.ocn.ne.jp

発行：九州障害者定期刊行物協会

〒812-0068

福岡市東区社領1丁目12番4号

電話092-753-9722 FAX092-753-9723

定価：10円(会費に含まれる)